IMAGE FORMING DEVICE

Patent Number:

JP60037574

Publication date:

1985-02-26

Inventor(s):

HASHIMOTO SHINICHI; others: 03

Applicant(s):

TOSHIBA KK

Requested Patent:

☐ JP60037574

Application Number: JP19830146996 19830811

Priority Number(s):

IPC Classification:

G03G15/00

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE:To prevent generation of the air flow crossing a conveying path for a member to be formed with image by providing said conveying path so as to bisect the body of a titled device in said body and providing means for discharging the air from the inside of the respective segmented regions. CONSTITUTION:Paper P passes through a conveying path 28 and is thus fixed. The fixed paper is discharged by a discharging roller 30 onto a freely attachable and detachable tray 3. The path 28 is provided in a body 1 so as to be bisected to upper and lower regions. A discharge fan 33 is provided as a discharging means on one side of the region A on the upper side and the 2nd fan 36 is provided as a discharging means in the intermediate part in the region B on the lower side. The two fans 33, 36 are rotated during image forming so that the heat radiated from an exposing lamp 22 and fixing device 29 is discharged by the fan 33 and that the heat radiated from a power source part 34, etc. is discharged by the fan 36.

Data supplied from the esp@cenet database - 12

⑩日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭60-37574

@Int_Cl.4

識別記号

庁内整理番号 7007--2H ❸公開 昭和60年(1985) 2月26日

G 03 G 15/00

103

7907-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

❷発明の名称 画像形成装置

❷特 願 昭58-146996

 \equiv

励

20出 願 昭58(1983)8月11日

(2) 発明者橋本伸(3) 発明者松山浩(3) 発明者岡本勝

川崎市幸区柳町70番地 川崎市幸区柳町70番地

東京芝浦電気株式会社柳町工場内東京芝浦電気株式会社柳町工場内

砂 発明者 岡本 砂 発明者 村上 彦 川崎市幸区柳町70番地 至 川崎市幸区柳町70番地

東京芝浦電気株式会社柳町工場内東京芝浦電気株式会社柳町工場内

加出 願 人 株式会社東芝

川崎市幸区堀川町72番地

砂代 理 人 弁理士 鈴江 武彦

外2名

明 組 4

1.発明の名称

面像形成装置

2. 特許請求の範囲

装置本体と、この本体内にこれを2分するように設けられ被画像形成材を搬送する搬送路と、この搬送路によって2分される各領域内にそれぞれ設けられ各領域内の排気を行なう排気手段とを具備したととを特徴とする画像形成装置。

3. 発明の詳細な説明

[発明の技術分野]

本発明はたとえば電子被写機として用いられる画像形成装置に関する。

[発明の技術的背景とその問題点]

一般に、電子被写機はその本体内に感光体と ラムを備え、との感光体ドラムに開光手段によ り像男光して静電潜像を形成し、これを現像器 で現像して転写チャーシの作用により画像を転 写紙に転写する。そして、この画像転写済みの 転写紙を搬送路によって定着器に搬送して定着 し排紙するようになっている。

ところで、この画像形成時には観光手段や定着器などから放出される熱により操体内が高温化するため、これを低下させるために機体内には排気用ファンが備えられ、この排気用ファンの回転により機体内の熱気を外部に排出し適温 状態を維持するようになっている。

しかしながら、従来においては排気用ファンを搬送路によって2分される本体内領域のいずれか一方の領域にのみ取けるものであったため、排気用ファンを回転させると、搬送路を横断する気流が生じる。とのため、搬送路によって搬送される転写紙がその途中において気流により浮き上がったり、あるいは押し付けられ、良好に搬送できなくなる不都合があった。

(発明の目的)

本発明は上記事情に着目してなされたもので、 その目的とするととろは、搬送路を横断する気 塊の発生を防止し、被函像形成材を確実に搬送 できるようにした画像形成装置を提供しようと

-1-

待面吗60-37574(2)

するものである。

(発明の概要)

本務明は上記目的を遊成するため、装置本体内の撤送路によって2分される各領域にそれぞれ排気手段を設け、これら排気手段により各領域内の空気を排気するものである。

[発明の契施例]

-3-

ャージャまを併に送り込まれる。

自動もしくは手巻し給紙された被画像形成材としての用紙P又はどは給紙装置36により給紙され、あらかじめ感光体20上に形成されたトナー像を転写ティーシャ35により用紙Pもしくはど上に転写する。さらにACコロナ放電による利能チャーシー27により感光体20点である。またよりトナー像を用紙P(P)に溶敷定着しまりによりトナー像を用紙P(P)に溶敷定着し掛出ューラ30により潜風自在なトレイ3に掛出される。

また、用紙P(P)上にトナー像を転写した後 感光体20上に残った残留トナーは清掃装置 31により清掃され、除電ランプ32により感 光体20上の電位を一定レベル以下に落とした のコピー動作可能の状態とする。

一方、上配搬送路 3 8 は上配本件 1 内を上・下の領域に 2 分するように設けられ、上部側の領域 A の一側には排気手段としての第 1 の排気ファン 3 3 が設けられ、また、下部側の領域 B

上記原稿台 4 は第2回に示すように原稿11を設置する原稿数置板(ガラス板)12とこの上面を覆り原稿カパー13とを有した構成となっている。

また、上記給紙カセット 2 のカセットカペー 」(は第 3 図に示すように用紙 P : を適宜手登 し供給するための手整し給紙台 1 6 とをってい る。なお、第 2 図に示す 1 6 は電源メイッチで ある。

つぎに、第4図を参照して電子被写根の内部 機構を説明する。図中30は彼写根本体1内の 低は中央部に配置されたドラム状感光体であり、 感光体30は図示されない駆動機構により矢印 り方向に原稿台4と同期して駆動される。まず、 帯電器31により一様に帯電され、解光多文性 23により一様に服射された原稿医像を集束付 光伝送体(商品名セルフォークレンズで供) 38により感光体30上に結像を生かている。形成された静電 形成させるようになっている。形成された静電 静像は現像装置34によりトナー像とし転写

- 4 -

の中間部には排気手段としての第2の排気ファン36が設けられている。上記第1の排気ファン38は図示しない駆動モータによって回転され、上記第2の排気ファン36は駆動モータ 36によって回転される。

しかして、面像形成時には第1および第2の 排気ファン88,36が回転され、第1の排気 ファン88により、露光タンプ 83および定着 装置 89から放出される熱が排出され、また、 第2の排気ファン 86の回転により電源部 86 などから放出される熱が排出されることになる。

とのように、第1および第2の持気ファン
33,86によって搬送路28の上,下部で排気を行なうため、搬送路28を模断する気流が発生せず搬送路28によって搬送される用紙P又はPが浮き上がったり、あるいは押し付けられるようなととはなく良好に搬送されることになる。

複写根本体 1 内には図示しない上部フレーム と下部フレームとが一端部において支輪 3 7 を

- 6 -

特開昭60-37574(3)

介して根支されていて両フレームの他締部が所 型の角度例えば30°に開放できるように構成さ れている。前配上部フレームには感光体800 周囲に帯電チャージャネ1、集束性光伝送体 29、毎光ランプ38、現像装置34、清掛装 **敵81、除電ランプ38等の各装置が適宜の手** 段により取りつけられており、又冷却装置とし、 てのファン33、給紙装置86の給紙ローラ 88、原稿台(も上記フレームに取りつけられ 上部ユニット1Aを構成している。又上配フレ ームには給紙カセット3、転写チャージ26、 別牒チャージャ 8 6、 数送路 2 8、形成用ガイ ド板39、定盤袋雌89、排出ローラ対30、 トレイ3等の各機構及メインモーター35、電 **添部84等が適宜の手段によりとりつけられて** 下部ユニット1Bを構成している。そして、複 写根本体1のフロントカペー」』を回動させて 取外した後凶示しない筮体照閉装置を介してほ 採用紙 P(P)の搬送路 2 8 にそって開閉できる 様に構成してある。従って用紙P(P)が搬送路

シ、63は上部ユニットAの開閉のために形成された把手、63は解光ランプは2の背部を囲続するリフレクタ、64は補助リフレクタである。

-7 -

また、65は滑揚装置のクリーコングナレード66を感光体 20に一定圧で接触させるためのかもりで図示しないソレノイドによりナレードの接触的作をさせる。

なお、リフレクタ63、補助リフレクタ64 及び終束性光伝送体88は1つのユニットとして組立てられている。

また、複写機本件1の右側下部に設けられた 前記約紙装置36は給紙カセット3と、この給 紙カセット3の上面側を分離爪90190が設 けられた用紙取出し用照口部71を残して寝う カセットカパー73に形成された手差し給紙合 15と、給紙カセット2内の用紙Pを取出し供 給する給紙ローラ38とを有した構成となって いる。 8 8 上に低づまりした時でも容易にとりだすことができる様になっている。

なお、部4回中 50,50は給紙カセット 3 内から自動給紙された用紙 P あるいは手差し給 紙された用紙 P の先端面の傾きを停正するとともに 感光体 80へのトナー像形成動作にタイミング を合せて用紙 P あるいは P を転写ティーシャ 25に向けて供給するレジストローラ対であり、 51はレジストローラ対 50,50の直前に配 置された手蓋し検知スイッチである。

6 8 は掛紙スイッナ、 5 3 はトータルカウンタ、 5 4 は給紙カセット 8 内の用紙P…が無くなったのを検知するペーパーエンプティスイッチ、 5 5 は現像装置 3 4 の現像剤暦の厚みを規制する P クター、 5 6 はトナーホッパ、 5 7 はトナー無し検出スイッチ、 5 8 はトナー濃度検知器、 5 9 はホッパーの姿であり、 これが閉じていないと原稿台 4 が動かないようになっている。

また、60は高圧トランス、61は除電プラ --8--

[発明の効果]

本発明は以上説明したように、装置本体と、 との本体内にとれを2分するように改けられ被 面像形成材を搬送する搬送路と、この搬送路に よって2分される各領域にそれぞれ設けられ各 領域内の空気を排気する排気手段とを具備した から、搬送路を横断する気流の発生を防止でき、 被画像形成材を良好に搬送できるといり効果を 奏する。

. 4.図面の簡単な説明

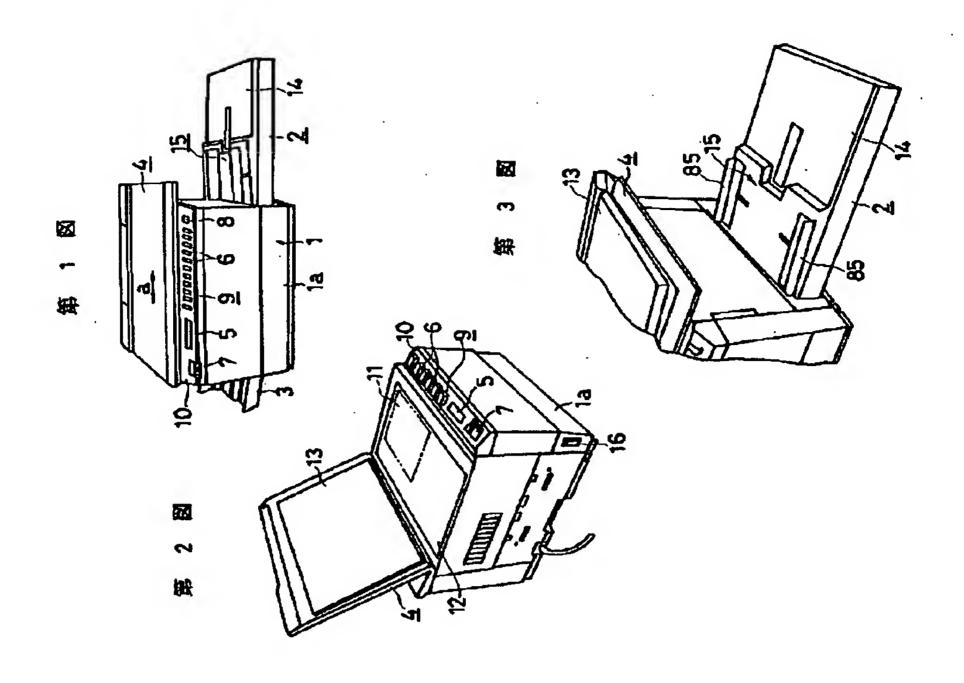
図面は本発明の一実施例を示すもので、第1 図~第3図はそれぞれ電子板写機を示す斜視図、 第4図はその桜断正面図である。

1 … 裝置本件、P,P"被關係形成材(用紙),
8 … 搬送路、A,B … 領域

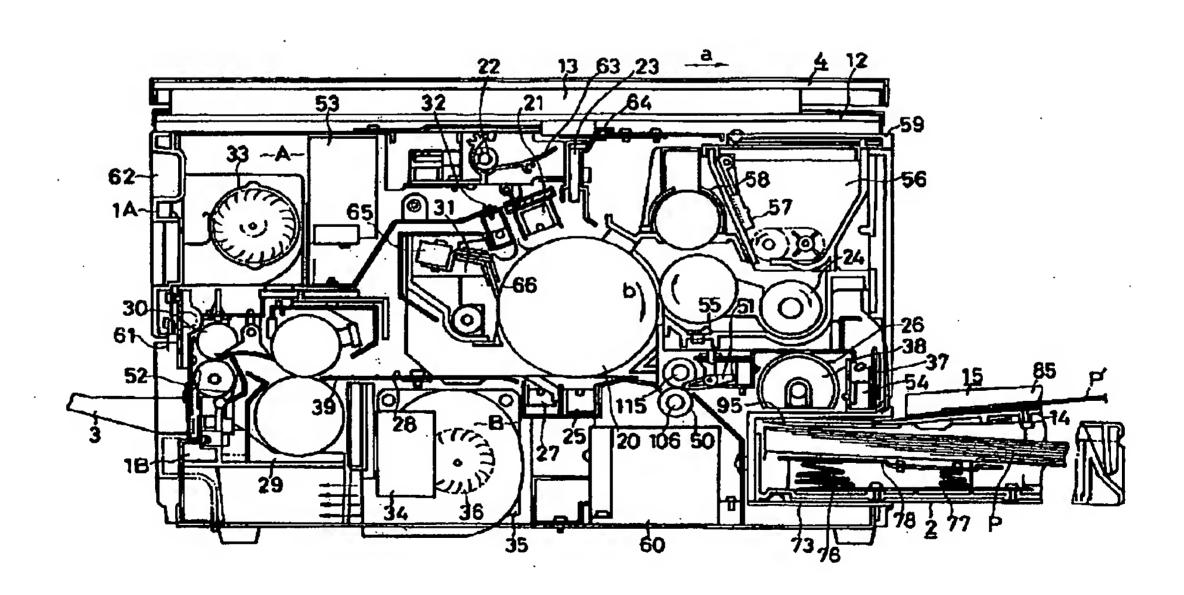
出顧人代理人 弁理士 弟 江 武 彦

7

特開昭60-37574 (4)



館 4 図



狩開昭60-37574(5)

手続補正費9.2.-9

特許庁長官 若 杉 和 夫 腿

1. 事件の表示

特顏昭58-146996号

2. 発明の名称

四 像 形 成 袋 置

3. 補正をする者 事件との関係 特 肝 出 節 人

(307) 取京芝楠和风你式会社

4. 代 憩 人

住所 東京都飛区虎ノ門 L 丁目26番 5 号 第17森ビル 〒 105 電 銛 03 (502) 3 1 8 1 (大代表)

氏名(5847)介理士 鈴 江 武

- 6. 自発補正
- 6. 補正の対象

明細書



7. 補正の内容

明細容够 4 頁 1 7 行目に記載した「セルフオークレンズアレイ」を「セルフオツクレンズアレイ」を「セルフオツクレンズアレイ」と打正する。

•